1970.5.7 明治大学新聞

労働の本質

藤本敏夫

労働が人々の中にその意味を見失われてから、もはや「キューバにおける人間と社会主義」を問題とするレベルにおいてさえ、人々の意識の中に、労働の意味が再び根源へと回帰する時、私は、「労働」ということを解放の名のもとに、自己の意識の手段として、人間の革命を存在方式、人々の意識